

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    |    | 公表日 令和7年9月30日                                                                                  |    |     |                                                                                                 |                                                                                    |
|---------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所名    |    | 公表日 令和7年9月30日                                                                                  |    |     |                                                                                                 |                                                                                    |
|         |    | チェック項目                                                                                         | はい | いいえ | 工夫している点                                                                                         | 課題や改善すべき点                                                                          |
| 環境・体制整備 | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                   | ○  |     | 子どもの状況や活動内容によって、部屋を使い分けたり、スペースを確保している。                                                          | 移動時等に事故が起きないように、子どもが安心・安全に取り組めるように配慮していきます。                                        |
|         | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                                | ○  |     | 子どもの特性や年齢に応じた適切な支援ができるよう人員配置にも配慮、工夫をしている。                                                       | 保護者の要望にも応える支援ができるよう人員配置にも気を配っていきます。                                                |
|         | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。          | ○  |     | 子どもの特性に応じた設備整備。安全な環境を整える整備、子どもに応じた設備を整えている。                                                     | 引き続き安全面に配慮し、個別に特性に応じた設備を整えていこうにします。                                                |
|         | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                          | ○  |     | 利用前、利用後は清掃と消毒、換気を行い、空気清浄機も利用している。                                                               | 引き続き、衛生管理に十分に気を付け、子ども達が気持ちよく利用できるように配慮していきます。                                      |
|         | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                     | ○  |     | 子どもに寄り添った場所の提供や環境に気を配り、配慮しています。                                                                 | 子どもの状況を見て、必要に応じた場所の提供をしています。                                                       |
| 業務改善    | 6  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                                | ○  |     | ミーティングなどで、目標、振り返りを行い、業務改善に努めている。職員同士が話しやすい環境を作る努力をしています。                                        | 今後も、職員が話しやすい環境づくりをしています。積極的に業務改善について話し合うことが出来る環境の維持に努めます。                          |
|         | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                           | ○  |     | 毎年、必ず自己評価を行い、保護者の意向を集約している。                                                                     | 保護者の意向を真摯に受け止め、問題点があれば、改善に取り組んでいます。                                                |
|         | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                         | ○  |     | ミーティングや、研修会を定期的に開催している。意見が出しやすい環境づくりに取り組んでいる。                                                   | 業務改善につながるような意見を聞き逃すことが無いように、職場環境を整えています。                                           |
|         | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                               |    | ○   | 定期的に内部監査を行い、改善点については共有し、意識して改善を図っています。                                                          | 内部監査を行うことでより良い支援、サービスの質の向上を目指していきます。より良いサービスの提供を目指しています。                           |
|         | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                              | ○  |     | 外部、内部、オンライン等で、機会があるごとに研修を行い、参加している。                                                             | 今後も職員の質の向上を目指し、外部研修に積極的に参加できるように職員の配置にも配慮し、社内研修もしっかり行っています。                        |
|         | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                        | ○  |     | 支援プログラムを作成した後も、見直しを行い、必要に応じて更新をして公表している。                                                        | 支援プログラムは、必要があればその都度見直しを行い、更新し、より良い支援ができることを目指しています。                                |
|         | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。               | ○  |     | 6ヶ月以内に支援計画の見直しをしている。5領域の視点でアセスメントを取り、子どもと保護者の要望、課題を聞き取り分析し、支援の内容を考え支援計画の作成を行っています。              | 今後も、適切にアセスメントを取り、子どもと保護者のニーズや課題を支援会議を通じて職員間で情報を共有し支援計画の作成を行って行きます。                 |
|         | 13 | 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○  |     | 職員全体で子どもの様子について共有し、子どもの支援に関わる職員の共通理解の下、寄り添った支援、子どもの最善の利益を考慮した検討を行っている。                          | 今後も子どもの最善の利益を考慮した検討、子どもの支援に関わる全ての職員の共通理解をはかり計画を作成します。                              |
|         | 14 | 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                              | ○  |     | 支援会議で支援計画の内容について話し合い、その後、お子さんの様子をミーティング等で共有している。計画に沿った支援について、保護者、子どものニーズに沿った支援が出来ているか確認等も行っている。 | 支援計画に沿った支援や支援の方向性の確認をしていくために個々のお子さんの状況を共有し、定期的に内容を確認しています。今後も状況に応じて話し合いの場を設けて行きます。 |
|         | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。            | ○  |     | 5領域のフォーマットを使い、保護者との懇談内容や子どもの日々の様子を観察し記録したものなども確認しアセスメントを取っている。                                  | 5領域を網羅したアセスメントを取ることで、子どもと保護者のニーズや課題を分析することが出来ています。そのアセスメントを、支援計画作成に有効に役立てています。     |

|          |    |                                                                                                                                                                                |   |  |                                                                                                             |                                                                                               |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 16 | 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ |  | 個別支援計画には、子どもの支援に必要な項目を設定しており、家族支援、移行支援など子どもの支援に必要な項目を適切に設定しており、具体的な支援が行えるようにしている。                           | 提供すべき支援の本人支援、家族支援、移行支援、地域支援・地域連携など子どもの支援に必要な項目を設定、記載しており、子どもの支援に必要な具体的な支援内容も設定して具体的な支援を続けていく。 |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                                                         | ○ |  | 子どもの様子などを共有し、子どもに寄り添った活動プログラムを、職員のミーティングで決めている。                                                             | 今後も活動プログラムは、子どもの状況、様子を職員で共有しそれぞれ立案した内容を話し合い、様々な体験ができるよう、季節感のあるプログラムや、変化のあるプログラムの立案をしていきます。    |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                                                       | ○ |  | 個々のニーズを取り入れながら、季節感のある活動や、変化のある活動を取り入れ、同じプログラムが重ならないように意識して内容を考えている。                                         | 今後も、個々のニーズに合わせて常にも内容を見直し、活動の幅が広がるよう工夫していきます。                                                  |
|          | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。                                                                                                            | ○ |  | お子さんの状況に応じ、集団支援の時間、個別支援の時間を作り支援を行っています。平日、土曜の活動に応じたプログラムを検討し、イベントやお出かけを採り入れたり、それに合わせた支援の時間の変更をするなどの工夫をしている。 | 子どもや保護者から要望を取り入れながら、より質の高い支援ができるよう工夫をしていきます。                                                  |
|          | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                                                                                                | ○ |  | 支援の前には、必ずミーティングを行い、その日に行う支援の内容、役割分担、活動内容の流れ、変更点、などを共有している。情報を共有し、個々の役割割りについても確認している。                        | 職員間で必ず支援前のミーティングを行うことによって、前回からの支援の内容が途切れることのないよう照らし合わせ、次の支援に繋がるように取り組んでいます。                   |
|          | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                                                                                         | ○ |  | 職員間で支援中の子ども達の様子、状況などを記録していくことは、より良い支援に欠かせない。職員間で一日の様子や、課題を共有し、支援の様子を通所記録、日報などで確認し、気付いた点などの記入をしています。         | 職員間での共有により、支援の方向性を確認しながら個々の子どもの様子の確認、記録した内容の確認など次の支援に繋がるよう努めています。                             |
|          | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                                                                                                         | ○ |  | 終業時に、その日の日報、通所記録を確認しています。定期的に通所記録、日報の読み返しを行い、日々の支援に役立てています。                                                 | 日々の報告から支援の検証をし、改善点を話し合います。それにより見直し、改善点を確認し継続して実施していけるよう努めてきます。                                |
|          | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                                                                                                | ○ |  | 定期的に6か月毎にモニタリングを実施している。お子さんの状態、様子に応じて必要があれば、短期間で見直しすると判断した場合はその都度、支援計画の見直しを行っている。                           | 保護者だけでなく、お子さんの様子については相談支援員とも連絡を密に取り情報を共有しながら、計画の見直しを行っています。今後も丁寧なモニタリングを続けていきます。              |
|          | 24 | <u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。                                                                                                                   | ○ |  | 活動プログラム、組み合わせを行っています。                                                                                       | 今後も、「4つの基本活動」を組み合わせたより良い支援を実施できるよう努めています。                                                     |
|          | 25 | <u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                                                                                                            | ○ |  | 支援の中に、身近な事や些細なことでも自己選択をする機会を盛り込んでいます。自分の力で選択する支援を意識して行っています。                                                | 自立するために必要な自己決定力を身に付ける支援をこれからも心がけて努めています。                                                      |
|          | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                                                                                                       | ○ |  | サービス担当者会議には必ず、直接支援に携わる職員も参加しています。職員間で子どもの情報を共有し関係機関との会議にも、子どもの状況をよく理解している職員が参加しています。                        | 担当者会議、関係機関との会議は子どもにとって重要な事なので、今後も継続して、参加、開催していきます。                                            |
|          | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                                                                                                     | ○ |  | 連携して支援を行う体制を整えています。                                                                                         | 保護者と子どものニーズの応じていつでも連携がとれる体制を整えています。                                                           |
|          | 28 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                                                                                                                           | ○ |  | 加古川市療育センターと必要に応じて意見を聞きに行ったり、連携を図っています。                                                                      | 今後も必要に応じて助言等連携を図ります。                                                                          |
|          | 29 | 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                                                                                                    | ○ |  | 地域交流の一環で、地区、近隣のこども園の行事などに積極的に参加させてもらっています。                                                                  | 今後も外出活動を通じて地域交流等を積極的に行い、地域の人や、小さなお子さん、他児のとの交流が出来る活動を検討していきます。                                 |

|              |    |                                                                                                                                     |   |   |                                                                                             |                                                                        |
|--------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 30 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。                                                                                     | ○ |   | 送迎時にお子さんの様子をお聞きしています。支援後には、その日の様子を伝えたり、必要に応じて、懇談を行ったりしています。保護者と事業所が同じ方向を向いて支援を行えるように努めています。 | 引き続き保護者と情報共有しながら、信頼関係を築き、保護者との支援に対する共通理解を図っていきます。                      |
|              | 31 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。                                                        | ○ |   | ペアレントトレーニングは行っていませんが、必要に応じて、懇談を行い、家族支援として、家庭で行える支援を保護者に具体的に伝えていきます。                         | アドバイスや、助言は今後も続けていきます。ペアレントトレーニングや研修についても前向きに検討していきます。                  |
|              | 32 | 【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 |   |   |                                                                                             |                                                                        |
|              | 33 | 【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                                     |   |   |                                                                                             |                                                                        |
|              | 34 | 【 <u>児発センターのみ</u> 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                                                       |   |   |                                                                                             |                                                                        |
|              | 35 | 【 <u>児発センターのみ</u> 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。                                                               |   |   |                                                                                             |                                                                        |
|              | 36 | 【 <u>児発センターのみ</u> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                                                       |   |   |                                                                                             |                                                                        |
|              | 37 | 【 <u>放デイのみ</u> 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。                                             | ○ |   | 学校の情報は、保護者を通じて確認しています。送迎を行っていないため、下校時刻等の詳細な情報は保護者を通じて連絡してもらっています。                           | 今後も学校行事等の必要な情報は保護者からお聞きしていきます。                                         |
|              | 38 | 【 <u>放デイのみ</u> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                                                            | ○ |   | 必要があれば相談支援員さんを通じて連携をとるようにしています。                                                             | そのお子さんの様子や気になること等あれば相談支援員さんを通じて情報を共有、相互理解をしていくよう努めています。                |
|              | 39 | 【 <u>放デイのみ</u> 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                                                    |   | ○ | 今までのお子さんは一般就職や進学をし、障がい福祉サービス事業所への移行者がいなかったため行っていませんでした。                                     | 今後は、移行する利用者であれば、障がい福祉サービス事務所へ情報を提供し、協力を努めていきます。                        |
| 保            | 40 | 【 <u>放デイのみ</u> 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。                                                                                             | ○ |   | 出来るだけ参加するようにしています。                                                                          | 今後も積極的に参加をしていきます。                                                      |
|              | 41 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                                                                | ○ |   | 契約時に重要事項説明書の読み合わせを保護者の方と一緒にしています。不明な点などがあれば、その都度丁寧な説明を行っています。                               | これからも、保護者の方に安心して当事業所を利用してもらえるように、引き続き丁寧に内容の説明をしていきます。                  |
|              | 42 | 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。                                        | ○ |   | 保護者とお子さんの両方から要望やニーズの聞き取りを行い、アセスメントを取るように努めています。                                             | 保護者とお子さんのニーズや要望の聞き取りを引き続きしっかりと行い、保護者や子どもの意思の尊重、子どもの最善の利益の優先を考えていきます。   |
|              | 43 | 「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。                                                                    | ○ |   | アセスメントに基づいて作成した支援計画を保護者に提示しながら丁寧な説明を行い、同意を得ています。                                            | 支援計画を提示して同意をもらった後も、支援内容などについて質問等があればお聞きし、丁寧な説明をしていきます。                 |
|              | 44 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                                                                  | ○ |   | 定期的な聞き取りを行ったり、学校やご家庭での問題や相談依頼があった場合は出来る限り速やかに対応しています。必要に応じて関係機関との連絡を取って話し合いの場を設けています。       | 引き続き、保護者からの悩み事や困り事には相談や面談を行います。情報の共有をし、信頼関係を築いて保護者との共通理解を図って支援をしていきます。 |
|              | 45 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。                                          | ○ |   | 毎年保護者会を開催して、保護者同士での交流の機会を設けています。また、同じ学校や年齢の近いお子さんの保護者を集めての懇談会も行っています。                       | 保護者会や懇談だけでなく、機会があるごとに保護者同士での交流やイベントの企画を考えていきます。                        |

|         |    |                                                                                    |   |   |                                                                                                                                               |                                                                         |
|---------|----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 護者への説明等 | 46 | こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ |   | 苦情体制について、契約時に読み合わせをしています。申し入れや苦情等があった場合には迅速に調査を行い、速やかに対応しています。                                                                                | 日ごろから保護者が意見や要望を出しやすいように声かけをしています。引き続き、保護者と子どもとの信頼関係を築いていくように努めていきます。    |
|         | 47 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。           | ○ |   | 毎月、事業所の会報を発行して子供たちの様子や活動の内容をお知らせしています。またホームページのブログも活用して、活動内容の報告を行っています。                                                                       | 今後も引き続き活動内容の情報を発信していきます。また保護者が、より活動内容の把握がしやすいように、Instagramの活用も検討していきます。 |
|         | 48 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                | ○ |   | 個人情報の取扱いについては、契約時に説明を行い、必ず同意を得るようにしています。職員には、個人情報規定についての研修と共有を行っています。                                                                         | 引き続き、個人情報の取り扱いには、十分注意を払い、慎重に対応していきます。                                   |
|         | 49 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                              | ○ |   | 個々の特性を理解し、個別に配慮しながら行っています。スムーズに意思疎通が図れるように、絵カードやタイマーなどを用いて子どもが理解しやすい工夫をしています。また、保護者に対しても必要な配慮を行っています。                                         | 今後も出来る限り、個々の特性に応じた対応や意思疎通の方法を模索していきます。                                  |
|         | 50 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                              |   | ○ | 地域の行事には積極的に参加しているが、事業所の行事に近隣住民の招待は行っていない。近隣の商店などには、挨拶をし事業所の活動に理解を持ってもらうように努力をしている。                                                            | 今後も地域活動に積極的に参加し、地域に開かれた事業所運営を目指していきます。                                  |
|         | 51 | 【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                               | ○ |   | 送迎時にお子さんの様子をお聞きしたり、事業所でのお子さんの状況を伝えている。必要に応じて懇談や、電話等で話を聞き対応している。                                                                               | 引き続き保護者と情報共有し、信頼関係を築きながら、保護者の悩みや相談に対応していきます。                            |
| 非常時等の対応 | 52 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。    | ○ |   | 年度初めの事業所内研修で、職員に対して各種マニュアルの周知・共有を図っている。また各種マニュアルの見直しも定期的に行っている。保護者には非常時の避難場所について説明し、引渡しカードに記入してもらい、非常時に備え、非常持ち出し用リュックを保管している。定期的に避難訓練を実施している。 | 今後も定期的にマニュアルの見直し、必要に応じて改訂も行っていきます。定期的な訓練も引き続き実施していきます。                  |
|         | 53 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                          | ○ |   | 火災と地震を想定した避難訓練を年2回実施している。また、BCPを策定し、必要な訓練や見直し検証を行っている。                                                                                        | 引き続き、定期的に全職員に対して、危機管理や防災、避難についての研修と訓練を行います。                             |
|         | 54 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                | ○ |   | 契約時と毎年年度初めに聴き取り調査を行い確認し対応している、                                                                                                                | 子どもたちの変化に気づけるよう、引き続き注意深く見守っていきます。                                       |
|         | 55 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                             | ○ |   | 契約時に聴き取り調査を行っている。かつ、毎年年度初めに聴き取りを行っている。                                                                                                        | より適切な対応が出来るように意志と連携を取っていけるようにします。また必要に応じて職員にはエビペン等の使い方の研修も行います。         |
|         | 56 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                       | ○ |   | 安全計画を作成、訓練、研修を行い、安全管理が行き届いた環境を作っている。                                                                                                          | 必用に応じて、安全計画の見直しを行い、安全な環境づくりを目指していきます。                                   |
|         | 57 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                          | ○ |   | 災害時の引き渡しカードの作成により、災害時に家族と連携がとれるようにしている。会報やホームページ等で、取組内容を周知している。                                                                               | 安全計画に基づく取組内容等に変更がある場合は、必ず、会報やホームページ等で周知していきます。                          |
|         | 58 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                            | ○ |   | ヒヤリハットがあった際には、報告書を作成し、その内容を職員間で共有し、再発防止対策についても検討し、周知している。                                                                                     | 子どもの行動等に注意し、ヒヤリハットが起きやすい場所や時間帯等を共有し、再発防止に努め、子ども達が安全に過ごせるようにしていきます。      |
|         | 59 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                               | ○ |   | 定期的に事業所内研修を行っている。また外部の研修にも積極的に参加し、研修内容を全職員に共有している。子どもや職員との関わり方についても適切かどうか、随時話し合っている。                                                          | なるべく多くの職員が研修に参加できる機会を作るように努めていきます。                                      |

|  |    |                                                                              |   |  |                                     |                                                    |
|--|----|------------------------------------------------------------------------------|---|--|-------------------------------------|----------------------------------------------------|
|  | 60 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | ○ |  | 現在、身体拘束をやむを得ず行う可能性のあるお子さんの利用は有りません。 | 身体拘束についての適切な理解のため、身体拘束適正化委員会の開催や事業所内での研修を継続していきます。 |
|--|----|------------------------------------------------------------------------------|---|--|-------------------------------------|----------------------------------------------------|